

ESD の普及啓発及び取組促進について（資源循環推進課関係）

1 平成 25 年度の取組

愛知県廃棄物処理計画（平成 24 年度～28 年度）では、廃棄物の最終処分量等の削減目標を掲げ、目標達成に向け、廃棄物の 3R の促進を始めとする各種施策を推進している。

平成 25 年度は愛知県廃棄物処理計画に位置付けられた施策のうち、以下の事業を「ESD あいち・なごやパートナーシップ事業」として登録し、「ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会」と連携しながら、ESD の普及啓発、世界会議の PR などを行うことにより、世界会議の開催機運の盛り上げを図るとともに、資源循環型社会形成の観点から ESD の取組の促進を図った。

- ・ごみゼロ社会推進あいち県民フォーラム
- ・循環ビジネス創出会議
- ・あいちの環境ビジネス発信事業
- ・あいち環境塾
- ・2014 愛知環境賞
- ・産業廃棄物処理業優良化セミナー など



（パートナーシップ事業ロゴマーク）

また、県が設置に関与し、県内全域の廃棄物を受け入れている衣浦港 3 号地最終処分場の設置運営主体である（公財）愛知臨海環境整備センター（アセック）と連携し、最終処分量等の削減目標の達成や持続可能な社会を支える担い手づくりに資する以下の事業を実施した。

- ・A E L ネット（愛知県環境学習施設等連絡協議会）環境学習スタンプラリー
- ・もりの学舎環境学習ツアー

2 平成 26 年度の取組

平成 26 年（2014 年）は、世界会議が開催される「ESD イヤー」であることから、上記「ESD あいち・なごやパートナーシップ事業」を継続して実施し、世界会議の PR や ESD の普及啓発に取り組むとともに、世界会議の開催を契機として、アセック等の事業者や様々な主体とも連携しながら、資源循環型社会形成の観点から持続可能な社会づくりに向けた取組を促進する。

<ESD に関するユネスコ世界会議の概要>

会議名称：	持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議 （UNESCO World Conference on Education for Sustainable Development）
主 催：	国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）、日本政府
開催期間：	平成 26 年（2014 年）11 月 10 日～12 日 閣僚級会合、全体会合など 11 月 13 日 フォローアップ会合
会 場：	名古屋国際会議場
参加規模：	国内外の閣僚、政府関係者など約 1,000 人を含む数千人規模の参加を想定
内 容：	「国連 ESD の 10 年（2005 年～2014 年）」の活動を振り返るとともに、2014 年以降の方策を議論する